

(独)森林総合研究所
森林農地整備センター
山形水源林整備事務所

第22回山形県林業まつり「緑と水と木の祭典」に参加しました

森林農地整備センター山形水源林整備事務所は、平成24年10月13日(土)・14日(日)に山形県総合運動公園特設駐車場内(天童市)において開催された「第22回山形県林業まつり(主催:山形県林業まつり実行委員会ほか7団体、協賛:山形水源林整備事務所ほか28団体)」に参加しました。

林業まつりに先立ち行われた「やまがた美しい森林づくり推進大会」では、「健全で豊かな森林を守り育て、未来に引き継いでいくためには、県産木材の積極的な利用と需要の拡大を図り、資源循環型社会の構築に寄与する森林・林業・木材産業を再生し、地域の産業の振興と雇用の場を確保することが極めて重要である。」との大会決議がなされた後、鹿野元農林水産大臣、林野庁古久保森林整備部長(林野長官代理)など来賓による丸太カットの開会セレモニーが行われ、130のブースが並ぶ林業まつりがスタートしました。

このような中で、山形水源林整備事務所からは全職員が2日間参加しました。水源林造成事業に関するパネル展示や来訪者の方々への「森林クイズ」などの中で、森林の大切さや当センターの事業の説明を行ったほか、松かさ工作、木の葉ラミネート加工、木偏の漢字当てクイズなどを行いました。林業まつりは両日に渡り、天候に恵まれ、多くの人で賑わいました。

今後も当事務所の活動を通じて、県民の皆様は、森林に対して親しみや関心を持っていただき、森林づくりの重要性を理解していただけるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。



松かさ工作の様子



森林クイズの様子